

# 古賀市議議長 **ぬま健司**のニュースレター



ホームページ numakenji.jimdo.com/  
Facebookも活用しています。  
最新の情報やデータを発信しています。  
ぜひご覧ください。私の政策・マニフェ  
ストも随時アップしていきます。

ぬま健司後援会事務所  
古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103  
電話/FAX 092(944)2639

## 任期最後の定例議会が閉会 予算、副市長人事、条例改正等をすべて可決 閉会后、議長としてお礼とまとめの挨拶



▼3月24日、私は議長として最後の定例会の進行を無事終えました。閉会后、私は議員並びに執行部の皆さんにお礼とまとめの挨拶をいたしました。また、中村隆象市長から感謝状を頂きました。(写真)

2月26日に開会した3月定例議会は、すべての議案を可決し3月24日に閉会しました。議長の任期は5月12日までですが、本会議の進行は完了しました。  
安倍内閣は地方を疲弊させてきたことの検証や反省もなく、地方に

「知恵を出せ」と求めています。地方は振り回されることなく主体的にまちづくりを進めるべきです。  
4月の統一地方選挙では、「地方創生」にどう対処すべきかが大事な争点になります。改選後、ただちに対応が求められます。

### 3月議会の特徴

- 2014年度補正予算、2015年度当初予算を可決しました
- 副市長、教育長人事を賛成全員で同意しました
- 施政方針質疑を6人、一般質問を10人が中村市長に対し行いました
- 議会報編集常任委員会を設置する条例改正を賛成全員で可決しました
- 学童保育やゴミ袋代等の条例改正を可決しました
- 「まち・ひと・しごと創生」や「公共交通」等に議論が集中しました

## 古賀市・2014年度(平成26年度)補正予算 「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を受け **1億4109万円を計上**

### 地方創生先行型

#### ①まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事務費

**補正額：1354万5千円**

・安倍内閣の「地方創生」の施策に伴い、古賀市も今年12月までに人口ビジョンや地方版総合戦略を策定することになりました。補正の内訳は、委員謝礼37万5千円、コンサル委託1218万8千円です。「熱意があるものには手厚く交付金をわたす」とのことですが非常に疑問です。  
・「地方創生はチャンス」とか「地方創生推進」などと安易に言えるものではありません。議会は特別委員会を設置するなどして「古賀市版総合戦略」の内容をチェックしていくべきと考えます。

#### ②ふるさと就労促進事業

**補正額：650万円、総額1250万円**

・市内事業者が新規の6ヶ月以上正規雇用を行い、被雇用者が市内に住所を有した場合に事業者へ補助(月5千円から1万円)するものです。

#### ③空き家・空き地実態調査事業費

**補正額：1350万円(国補助1100万円)**

・古賀市内の空き家、空き地を1件ごと調査するとともに所有者の意向調査を行うものです。

#### ④玄望園雇用創出基盤整備計画事業費

**補正額：2460万円(国補助2000万円)**

・玄望園周辺道路の交通特性を分析するとともに、将来の交通予測を行い、地域の特性にあった道路計画等を作成するものです。

#### ⑤学校給食費負担軽減事業費

**補正額：489万円(国補助400万円)**

・古賀市内在住で小中学生が3人以上いる世帯の保護者に対し、第3子以降の学校給食費の半額を補助するものです。

### 地域消費喚起型

#### ①グランドパス購入補助

**補正額：2300万円(全額国庫補助)**

・西鉄のグランドパス3ヶ月以上を70歳以上の方が購入した場合に、6割程度を補助するもの。3ヶ月で定価は13000円だが自己負担は5500円、6ヶ月で23000円だが自己負担は7500円、12ヶ月で42000円だが自己負担は12500

円となります。中村市長の公約は、70歳以上の方が路線バスを使った場合、一律100円とするというもの。性格は違いますが、使いやすい公共交通の実現こそ必要です。

#### ②プレミアム付き商品券発行補助

**補正額：5500万円、総額6500万円**

・1万円券(1万2千円分)を3万冊、リフォーム10万円券(12万円分)を500冊をそれぞれ発行する事業に対し補助するもの。プレミアム率は2割で、1万円分買えば12000円の買い物ができます。購入限度額は1万円券は10万円、10万円券は100万円。今年7月ころ販売され、利用期限は半年程度です。全国的にプレミアム付き商品券の発行増額が予定されていますが、その効果については様々な意見があります。

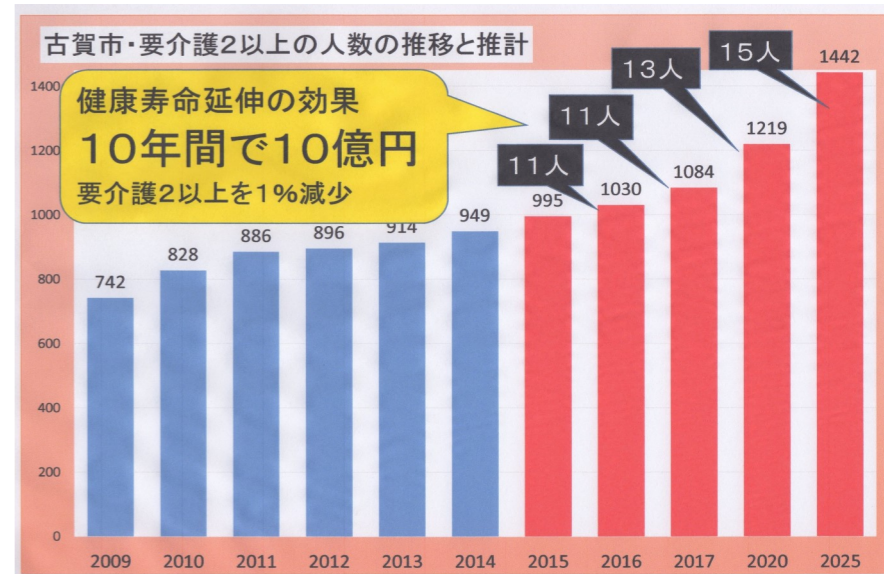
### 健康寿命延伸の効果を推計

## 10年間で10億円の介護給付費節約

ぬま健司の一般質問(1月)で判明

生活習慣病予防に力を入れ、健康寿命を伸ばせば、市民の幸せと古賀市の財政を守ることができます。  
1月の私の一般質問で、今後10年間で要介護2以上になる方を毎年1%ずつ減少させれば、介護給付費を10億円減額させられるという推計が明らかになりました。2月の田辺一城県議の質問によると、福岡県

全体では814億円になります。  
私は、「①保健師の拡充による地域担当制②各行政区から毎年2名の健康づくり推進員の選出③46行政区の公民館単位での健康づくりの実施」を実現するために全力を尽くす覚悟です。この具体化(人件費など)に先行投資することこそが、古賀市の地域創生総合戦略です。



要介護2以上の方は増加傾向です。今後10年間、要介護2以上になる方を毎年10人から15人減らすことができれば介護給付費で10億円、医療費も加えればさらに大きな金額が節約できます。



2015年度・平成27年度の一般会計当初予算  
200億5724万円（前年度比5億3千万円増）  
**生涯学習センター建設に約13億円**

生涯学習センター建設 12億9861万3千円



図書館とリーバスプラザをつなぐ生涯学習センターの工事始まる。2017年1月29日完成予定。

JR千鳥駅東口の周辺整備 1億1653万8千円



千鳥駅東口側の土地約1800㎡を2015年度買収。駅ロータリーの工事は2016年～2017年度に実施予定。

花見東地区公園整備 1億4275万8千円



整備面積は6300㎡。2015年7月に発注、その年度内に工事完成予定です。ワークショップの声が反映されます。

小中学校への人的配置 総合計1億1634万6千円

◆中1ギャップ対策6人、小1プロブレム対策12人、特別支援教育支援員22人、スクールソーシャルワーカー1人などの市雇用の教職員の配置を継続します。

花見小、小野小に太陽光パネルと蓄電池 4321万円

◆災害時の停電対策が可能となります。

農産物移動販売促進事業補助 250万円

◆地場農産物の移動販売に必要な車両購入、改造、宣伝費用の半分を補助。地産地消や買い物弱者対策としても効果的。

西鉄路線バス補助 3969万8千円

◆運送経費と運送収入見込みの差額を補助するものだが、それぞれの見込額は西鉄が提出したもの。利用促進対策が十分か検討が必要。

●ヘルスステーション設置補助（継続1、新規5）60万円

集団検診での歯周疾患検診 159万2千円

●自治基本条例策定事業費 1096万1千円

●被爆クスノキ平和祈念植樹 9万3千円

遺族会、原爆被害者の会などと5月から6月にかけて植樹式を実施。

●クロスパルこが指定管理料 3960万円

上下水道が接続され使用料が発生するため大幅に増加。

### ぬま健司が力を入れたいと考えていること

#### ①中村市政への適切なチェックと効果的政策提言

◆国の政策に振り回されず、市民の切実な声に応える市政をきびしく推進

#### ②健康寿命延伸、利用しやすい公共交通の実現

- ◆小・中学生からの生活習慣改善（食生活と運動）の取り組み
- ◆地域担当保健師、健康づくり推進員の拡充で46行政区での健康づくり
- ◆路線バス、小型バス、タクシー等による利用しやすい公共交通の実現
- ◆生ゴミによるバイオマス発電で清掃工場、水再生センターの見直し
- ◆高齢者福祉、学校教育、子育て支援等に古賀市独自のぬくもりある政策

#### ③「まちづくり研究所」（仮称）の設立

- ◆データや最新情報を発信 ◆市民学習の場を提供 ◆次世代の人材育成
- ◆国の「地方創生総合戦略」の検証と地方自治・民主・平和の確立

#### ④議長の経験活かし、議会活動の更なる改革

- ◆「チーム議会」の発揮 ◆研修の徹底で政策提言・条例提案の実行

#### ⑤身近な取り組み

- ◆公民館・集会所へのAED設置補助（現在46行政区中4ヶ所で設置）

### 市社会福祉協議会福祉



皆様のご意見をお聞かせください。  
ny2knm@gmail.com

←各種行事での来賓挨拶の機会に、グラフをお見せし具体的に分かりやすくお話ししてきました。これが私のスタイルです。

## 議会改革度、県内第1位！

（日経新聞調査・2013年）

議長就任4年・チーム議会の成果



本会議と予算特別委員会のインターネット中継・録画を開始



古賀市議会と福岡女学院看護大学とのパートナーシップ協定（2月24日）

### この4年間で実現した議会改革

- ◆本会議と予算特別委員会のインターネット中継・録画の配信
- ◆議会基本条例の施行。議会報告会の開催。自由討議の実施
- ◆補正予算特別委員会の設置、大綱質疑・討論の通告制導入
- ◆押しボタン式表決システムの導入、大型モニター設置
- ◆議場での小中学生の作文発表や看護大教授の記念講演
- ◆議会災害対応要綱、行動マニュアルの策定
- ◆請願審査における請願者の意見を聞く場の設定
- ◆福岡女学院看護大学とのパートナーシップ協定締結
- ◆政務活動費の収支報告の公開、領収書なども近々公開
- ◆議会報編集特別委員会を常任委員会とする委員会条例の改正
- ◆本会議、委員会へのへのパソコン等の持ち込み許可
- ◆予算審査資料等の電子データ化とタブレット活用
- ◆議会事務局体制の強化（正規職員5人体制の復活）

### 今後の議会改革

- ◆職員や有識者等を講師とする議員研修会の継続
- ◆各常任委員会での所管事務調査の充実と提言
- ◆決算審査の充実と審査結果を踏まえた事業評価や提言
- ◆政策推進会議の充実と政策条例案を提出する準備
- ◆各議員の一般質問を議会としての政策提言にまとめる努力
- ◆インターネット議会中継をスマホ、iPadで見れる改善対策
- ◆市民による議会モニター制度の導入
- ◆自治基本条例や古賀市版総合戦略に対する特別委員会設置による情報共有と慎重審議